見て感じた気持ちから

作成日１０月２２日（金）
作成者　進藤早苗
対象　４歳児　きく組

保育のねらい：保育者や友達に疑問に感じたことを言葉で伝える。

保育の振り返り

幼稚園でみんなで活動をしているののさまアート。クラスや学年を超えてみんなで仲良く遊んだり何かを作って楽しむ日としてスタートしまい、きく組の子ども達から『ののさまアートって何？』という声が聞こえてきました。子ども達は、『これって何？』『何で？』という知らないことへの興味からの疑問が多く、その都度一緒に考えたり、分かりやすい言葉で伝えたり、一緒に調べたりしながら、子ども達の知りたい気持ちに寄り添っている毎日です。聞かれたことへの返答に困ることもあります。そういう時は周りの先生に相談をし、子ども達には、『先生も分からないから○○先生にも聞いてみるね。』と伝えるようにしています。そういうやりとりもあり、何か子ども達も感じるものがあるのかと、お寺にの子どもまもうこの達の葉言せるこ言葉をすんなるがの気で言葉を交わしながら感じたことや疑問を伝えたり、相手頂いたことを知りやきすまし調和に、いい？』に、曼荼羅見ると、みんなが軽にいけるようなかわりを、これからも大切にしながら保育聞くと、てあげられるよう、安心して過ごせるどうしたらいい？』『○○ちゃんどうしたらいい気持ちを一緒に感じたりしながら活動を楽しんでいけるようなかかわりを、これからも大切にしながら保育に助けて嬉しい気持ちを一緒に感じたりしながら活動を楽しんでいけるようなかかわりを、これからも大切にしながら保育困った時、『先生、どうしたらいい？』『○○ちゃんどうしたらいい気持ちを一緒に感じたりしながら活動を楽しんでいけるようなかかわりを、これからも大切にしながら保育気持ちに気付いたり、嬉しい気持ちを一緒に感じたりしながら活動を楽しんでいけるようなかかわりを、これからも大切にしながら保育をしていきたいと感じた日でした。

（言葉による伝え合い、豊かな感性と表現、協同性、社会生活との関わり・自立心・健康な心と体、道徳性・規範意識の芽生え・思考力の芽生え）